

インタビュー学習を通して

六班

インタビュー概要

- 日時：2021/12/14
- 場所：FABラボ
- テーマ：靴
- 概要：四年生の先輩にあらかじめアポを取り、インタビューを行った。
- 班員の五人をアドリブ班(三人)と台本班(二人)にあらかじめ役割分担を行った

最終的に目指す質問事項(テーマ質問)
→靴に何を求めているか

事前準備

- 班内で質問したい内容、手順、流れなどの考案、作成を行った。最終的に以下のような内容を考えた。
- 計画(逆さ順で質問していく)
テーマ質問に滑らかに誘導できるような質問の流れを作りたい
- 1. 貴方は自分で靴に何を求めていると思いますか？
- 2. 自分が靴を選ぶときにルールや基準を決めていますか
- 3. ファッション性と機能性のどちらを重要視していますか
- 4. 靴を買う場所、ブランドは決まっていますか(オンラインで購入しますか)
- 5. 靴を買う頻度はどのくらいですか、価格帯は決まっていますか
- 6. 貴方が靴を買う時を思い出して下さい、どんな時に、どんな流れで買いますか？
- 7. 靴がほしくなった時、あるいはほしくなる時どうやって探しますか
- 8. 貴方は靴を何足持っていますか、またそのうち何足をどのような場面(季節も)で使用しますか

インタビュー後の反省

事前準備に関して

アドリブ班と台本班にあらかじめ分ける仕組みは時間効率化の点で優れていた。

事前準備の段階で、質問事項を班内で深め、シミュレーションをしきれなかったために、アドリブ班が時間を気にしすぎ、内容を深めるという趣旨から外れてしまっていた。

事前になんとかなくインタビューで得られる回答を予想してしまっていたため、それが外れた場合に対応ができなかった。

複数人にインタビューすることをあらかじめ考えておけば、さらに厚みのある回答があられたのではないか。

本番に関して

インタビューする側が緊張してしまっていたために、雰囲気作りまで手を回すことができなかった。

台本を気にしすぎてしまい、興味があるような姿勢で聞けなかった。

相槌や共感が足りなかったように感じた。

事前シミュレーションが足りなかったために、全体のインタビュー時間が短かった、スムーズさに欠けた。

台本班のアドリブがなさ過ぎた。

カメラを移動させることができくが聞かれる側を明確にできるとさらにわかりやすくなったかもしれない。

マスクをしなければならいからこそさらにはきはきと話す必要があった。

雑談を最初から組み込めると雰囲気づくりの点で違っていただけたのではないかなと思う。